

ハーン先生と漱石先生

==ハーンと漱石の英語授業と試験問題==

西川盛雄 11/24/2016

熊本大学学術資料調査研究推進室々員

熊本大学客員・名誉教授

[1] はじめに

○ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）： 嘉永3年（1850）～明治37年（1904）

明治23年8月30日～明治24年11月15日（9月1日新学期）

嘉納治五郎 秋月胤永 「九州の学生とともに」「柔術」「石仏」「極東の将来」

○夏目漱石（金之助）： 慶応3年（1867）～大正5年（1916）

明治29年（1896）4月13日～明治33年（1900）7月18日 9月8日横浜出港

菅 虎雄 『草枕』『二百十日』 「トリストラム・シャンディ」「英國の文人と新聞雑誌」「小説<エイルキン>の批評」

[2] ハーンの授業

前提：①アメリカ（シンシナティ、ニューオーリンズ）と西インド諸島（マルティニク）で有能なジャーナリストであった。

②ハーパー社から派遣された特派員であった。

>自由英作文の課題の例（松江時代）：

【生き物（動物）】 「ホトトギス」「鶯」「鳶」「螢」「百足」「亀」「蛙」「蜘蛛」「日本猿」

【生き物（植物）】 「牡丹」「蓮」 【スポーツ】 「相撲」「剣道」「水泳」

【神々と神社】 「七福神」「天皇」「松江の春日（大社）について」

【霊的なもの】 「幽霊」「創造者」「祖先を敬うべき理由は何か？」

【祭日】 「雑祭」「天皇誕生日」「先週土曜日の運動会について」

【民芸品】「漆器」 【生活食品】「米」「茶」 【傾向】「私の嫌いなもの」「世に最も怖いもの」

【実用的（手紙の書き方）】 「書店に本を注文すること」「友への松江便り」

【自然風景】 「宍道湖」「大山と呼ばれる山」 【職業】 「消防士」

【様式】 「古代日本の様式（家）」「古代日本の様式（衣服）」

【俚諺】 「虎の威を借る狐」「飛んで火にいる夏の虫」

>自由英作文の課題の例（熊本時代）：

<人が永く記憶にとどめるものは何か？> <はじめて学校へ上がった日>

<文学における不滅なるものは何か？> <最も難解なものは何か？>：「九州の学生とともに」

[3] ハーンの試験問題（五高一明治 26 年（1893）の卒業生クラス）：

『カーライルは、学生から何を読めばいいのでしょうか』と問われて「永遠なるものを読みなさい」と答えたという。この出来事についてコメントを述べ、良い書物における「永遠なるもの」とは何かについて自分の意見を述べなさい。』

[4] 漱石の授業

- ①「中学改良論」（M25（1892）12 月） 文科大学教育学論文
- ②「語学養成法」（M44（1911）1 月、2 月）『学生』第二巻
- ③ 英語授業参観の報告書

[5] 「中学改良論」——<教育上の一意見書>

- ・用書は可成卑近なるものを択んで高尚に失せざる様心掛くべし。
- ・日本従来の徳義と衝突するような本を購読して平気なるときは、・・・日本人の胸に西洋人の首がつきたる如き化物を養成するにいたるべし。
- ・注意して生徒の学齢に応じたる丈道徳的智識的に有益な事柄を記載せるものを・・・。
- ・日本語を洋語と比較対照し其似たる處と其異なる所と其異なる所を審にして文法兼会話書ともいふべき書物を作るにあり・・・。
- ・訳讀は力めて直訳を避け意義をとるやうにすべし。
- ・熟字に遇ふ毎に之を書取りかつ暗誦せしむべし。
- ・教師は訳讀の済んだる部を徐々と朗読し生徒をして之を日本文に書き直さしむべし。
- ・作文に先って文法と書き取りに熟練せしむべし稍熟したる頃に毎時熟字十数を与えて之を暗記せしめ次回には其一を選んで其文中に挿入せしむ但し作文は極めて簡単なるべし。
- ・教師は生徒をして順次黒板に其作文を書かしめ全級の面前にて之を正すべし。
- ・教科書は可成原書を用ふべし是は語学を上達せしむるの最方便なるのみならず科学上有益なる言語を覚えて将来の利益となる事多し。

[6] 「語学養成法」

語学の力の有った原因： 語学の力の衰へた原因：

語学の力の衰へた理由：それは確か故井上毅氏が文相時代のこと・・・英語の教授以外には、出来る丈日本語を用ゐて日本の language に重きを措かしむると同時に、国語漢文を復興せしめた事がある。・<人為的に外国語を抑圧したこと>

改良の三要点： ①時間 ②教授法 ③教師

- ①外国語学習に多数の時間を与えられないこと
- ②教授法が確立されていないこと
- ③適切な教師が少ないこと (教師の養成)

- ・全国の中学の英語教師の試験を時々文部省でやったら好かろうと思ふ。・・昇俸増俸の道を講じてやる。
- ・話すこと、書くこと、読むこと、譯することなど、夫等の各方面に渡って一通り力のある人でなければ、總てのことが一通り出来る生徒を養成することが出来ない。
- ・大学は学者よりも教師—不適當な—を養成しなければ不可ないと思う。
- ・文部省では中学の英語教科書を作る必要がある。その際六づかしいものを省いて生徒に無用の脳力費やさせない様にしてやる。それには外国の新聞を基礎にするのが一番よい……。 (ロンドン・タイムズ デイレー・メール)
- ・己を得ず先ず規則を知ってそれを骨とし、それに肉を着せて互いの意思を疎通するやうに話し書く外はない。
- ・授業においては「有機的統一と云うことを考へて、互に融通の利くやうな親切な教え方をしなければなるまい。」

[7] 漱石の試験問題

> 語句の意味

- (a) mastication (b) impertinence (c) the wear and tear of time
- (d) the sword of Damocles (e) the day of judgment (f) Augean stables
- (g) volunteers (h) affluence (i) deformity (j) impurity

> 成句の意味

- (a) to lie in wait (b) To be out of temper (c) The tables are turned.
- (d) To hold one up to scorn (e) To know black from white (f) To brave cold and heat (g) To bear trials (h) To abandon oneself to grief (i) Down with him! (j) To accost a person

> 誤答分析

- (a) He thought the money was robbed.
- (b) There lived a certain weaver who named Silas Manner.
- (c) The book is printing

(d) Every person has a right to take care of themselves.

(e) Godfrey was want of money.

> 語源 1898年12月24日 英文科3年

(a) petrify (2) pantheon (c) tenet (d) apathy

> 聞き取り (Dictation) 1898年12月23日 文科2年

(1) antidotes (2) connivance (3) versatility (4) a man of nice conscience

(5) sanguine person (6) freedom from corruption

[8] まとめに替えて